

平成 2 8 年  
スーパーマーケット年次統計調査  
報告書（抄）

平成 2 8 年 1 0 月

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 6-8 代替フロン冷媒製造中止対応実施状況

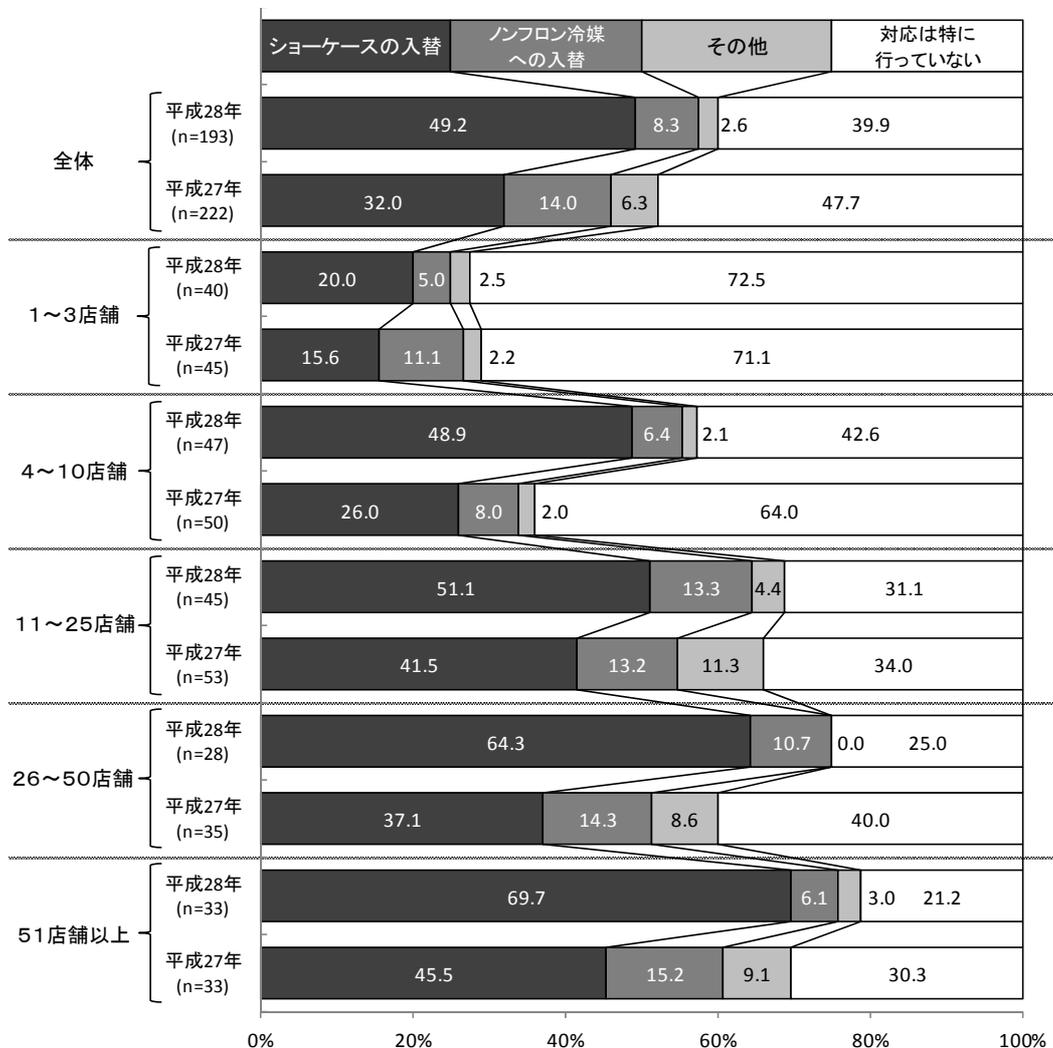
- 代替フロン冷媒製造中止を見据え、「ショーケースの入替」を49.2%が実施しており、前回調査から増加している。
- 保有店舗数が多いほど「ショーケースの入替」の割合が高くなっている。

代替フロン冷媒製造中止を見据えて実施した対応では「ショーケースの入替」（49.2%）が最も高く、次いで「ノンフロン冷媒への入替」（8.3%）となっている。その他の対応では「省エネ診断（1件）」「ケースの修理（1件）」などが挙げられた。

保有店舗数別にみると、店舗数が増えるに従って「ショーケースの入替」の割合が高くなる傾向がみられる。

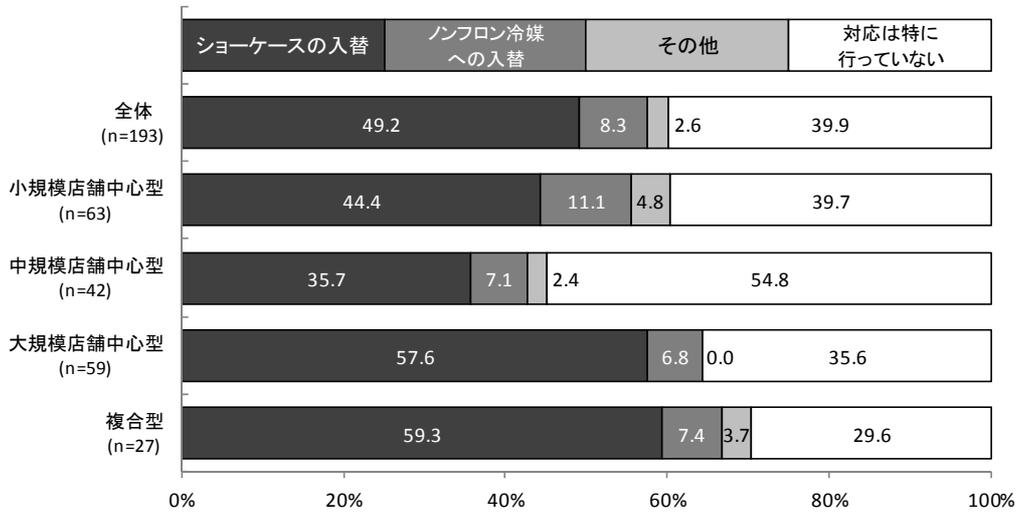
前回調査に比べ、すべての店舗数で「ショーケースの入替」の割合が増加しており、特に4店舗以上の企業ではそれぞれ大幅な増加となっている。

図表6-8-1 代替フロン冷媒製造中止を見据え、既に実施した対応/保有店舗数別経年比較



売場規模タイプ別にみると、複合型の企業で「ショーケースの入替」の割合が59.3%と他の売場面積に比べて最も高い。

図表6-8-2 代替フロン冷媒製造中止を見据え、既の実施した対応/売場規模タイプ別



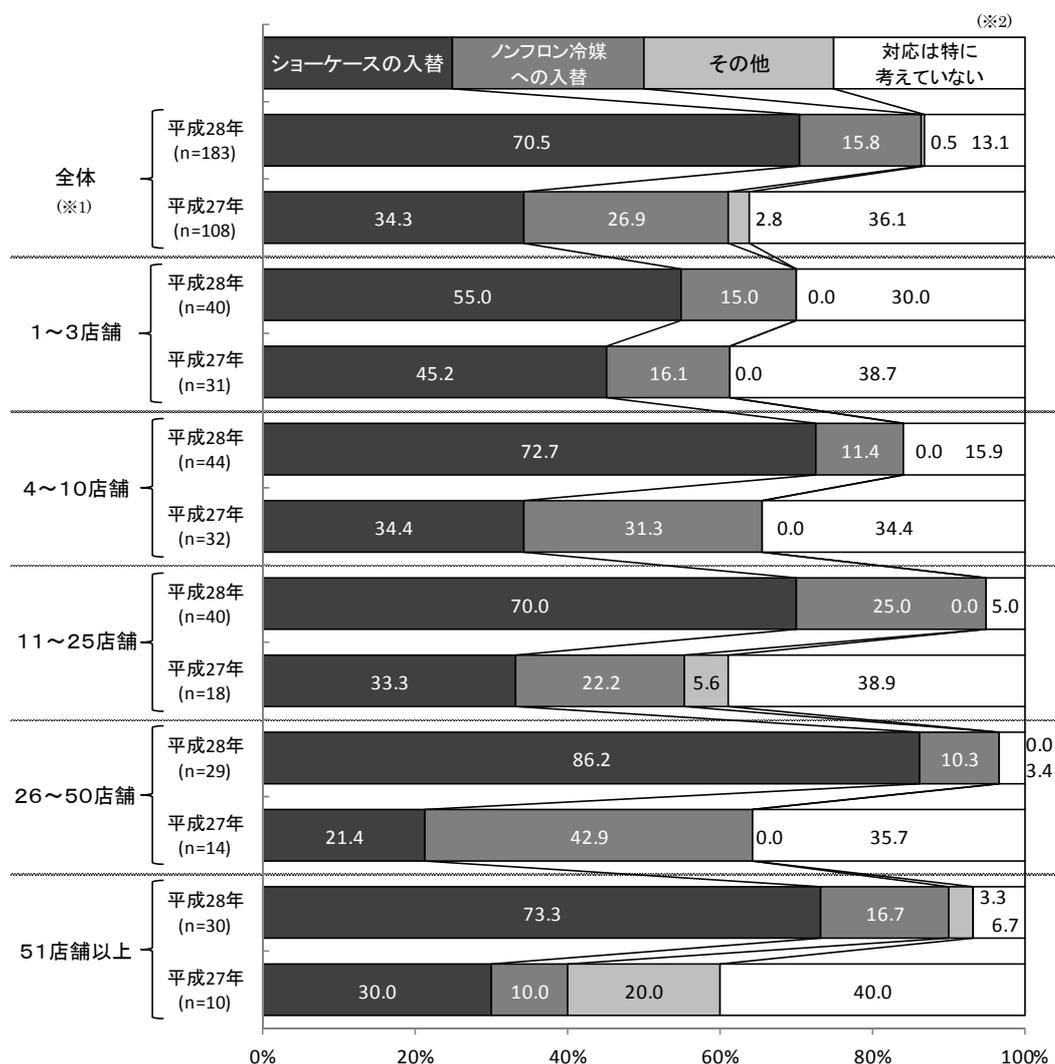
## 6-9 今後、代替フロン冷媒製造中止を見据えた対応実施意向

- 代替フロン冷媒製造中止を見据えて実施したい対応は「ショーケースの入替」が70.5%。

代替フロン冷媒製造中止を見据えた今後の対応の実施意向は「ショーケースの入替」の割合が70.5%、「ノンフロン冷媒への入替」が15.8%となっている。一方、13.1%が「対応は特に考えていない」と回答している。（平成27年調査では対応を行っていない企業が調査対象のため参考値）

保有店舗数別にみると、26～50店舗の企業で「ショーケースの入替」（86.2%）、11～25店舗の企業で「ノンフロン冷媒への入替」（25.0%）がそれぞれ他の店舗数に比べて最も高くなっている。

図表6-9-1 今後、代替フロン冷媒製造中止を見据え、実施したい対応/保有店舗数別経年比較



※1 平成27年調査では『対応を行っていない企業』が調査対象

※2 平成27年調査では選択肢が「対応が進んでいない」となっている

売場規模タイプの違いで今後の対応の実施意向には大きな差は見られない。

図表6-9-2 今後、代替フロン冷媒製造中止を見据え、実施したい対応/売場規模タイプ別

